



昇段レポート

太田清貴 五段 (岐阜太田道場)

～2013年3月3日 取得～



昨年の11月に来年の総極真公認昇段審査会を受けられたら挑戦したいと思
い稽古をしました。ここ数年左肩の調子が良くない状態でした。だから何とか
なるときに受けないともう出来ないと思っていました。この時は型の痛みはな
く、腕立ても数回は出来るまでになっていました。とにかく来年の1月までの
3ヶ月間やつてみて、それから考えようと決めていました。

自分は走れば組手はやれると思っているから、とにかく走るのからやり始
めました。最初は5キロが走れませんでした。走っては止まり、歩き、また走
るという感じで続けました。12月末には5キロを止まらないで完走できるよ
うになりました。そして体重もこの時に4kgぐらい減りました。正月には高山
に泊まり込み、一人で稽古しました。またほとんどどこにも行かず、弁当もコ
ンビニので済ませました。そしてもう何十年ぶりに宮本武蔵を読み気持ちを高
揚させました。

2月に山岡道場で審査と同じように、基本、移動、型、補強、組手をやりま
した。本当は50人やる予定でしたが、40人で止めました。今までの経験で
やりすぎて後に残ることもあったので、ここまでという感覚で危ない兆候が出
たらそこで無理はしませんでした。

審査会当日はそんなに寒くはありませんでした。一緒に受けた早川、そして
太田道場生が応援に来ていました。道場では、「苦しい顔するなよ」と言ってい
るのにそれは見せられないと気合が入りました。

50人組手はわりと相手がよく見えました。とにかく気持ちが折れないように、
そして動きが硬くならないようにと思っていました。出だしはよかったです、
後半誰かの下段をもらってそこからきつくなりました。しかし自由師範の助言
もあり落ち着くこともできました、きつくなってから周りに居る方々の応援で何
とか50人組手完遂できました。大石最高師範からは組手はよかった、別人で
あったと賞賛していただきました。

審査会の当日もそうですが、それまでの何ヶ月間がいい経験となりました。
本当に自分にとって覚悟を決めた時間を過ごしました。底冷えする外気が忘れ
かけていた自然の厳しさと今の現実を、そして初心の心を目覚めさせてくれま
した。

大石最高師範をはじめ、各師範、先生方、そして各道場生の方々ありがとうご
ざいました。海野師範には後日大きな写真も送っていただき、そのお心遣いが
大変うれしく感謝しております。

押忍